

「近現代日本の政策史料収集と情報公開調査を踏まえた政策史研究の再構築」（平成 15・16 年度、課題番号：15330024）別冊「近代日本史料研究会・戦後史料研究会速記録集史料等索引」より

凡 例

1、本書に収載した索引は、四つの科学研究費成果報告書に収められた「近代日本史料研究会速記録集」、「戦後史料研究会速記録集」中に登場した史料等をなるべく網羅的に拾い出し、そこに記載されている情報を簡潔に整理するという形で作業を進めた。

2、配列および記載内容は以下の通りである。

<項目名>

まず個人（または家）に関わる史料と、機関・団体・その他に関わる史料に大別し、個人に関わる史料はあいうえお順に配列した。機関・団体・その他に関わる史料は、以下のような分類（必ずしも正確ではない）に従って分け、その上であいうえお順に配列した。

皇室・宮中	議会・政治団体	外交	軍事・防衛
司法・裁判	財政・経済	建築土木	教育・学校
社会・労働	GHQ 占領期	旧植民地・占領地	他官庁・政府機関
地方公共団体	マスコミ・出版	海外史料	その他

<史料情報>

史料名である人物・機関等に関わる説明、史料の形態、目録の有無、公刊されている場合はその著作名、その他の情報、そして最後に史料所蔵機関を（ ）内に記載した。

<巻・頁>

前述のように、本索引は合計四冊の成果報告書から収録されているが、それらを古い順から 1～4 の巻数であらわし、その中での頁数を記載した。すなわち、

「日本近代史料に関する情報機関についての予備的研究」	1 巻
「日本近代史料情報機関設立の具体化に関する研究」	2 巻
「日本近代史料情報機関設立の総括的かつ細目に関する研究」	3 巻
「近現代日本の政策史料収集と情報公開調査を踏まえた政策史研究の再構築」	4 巻

3、字句・表現等はなるべく速記録集のものを尊重した。